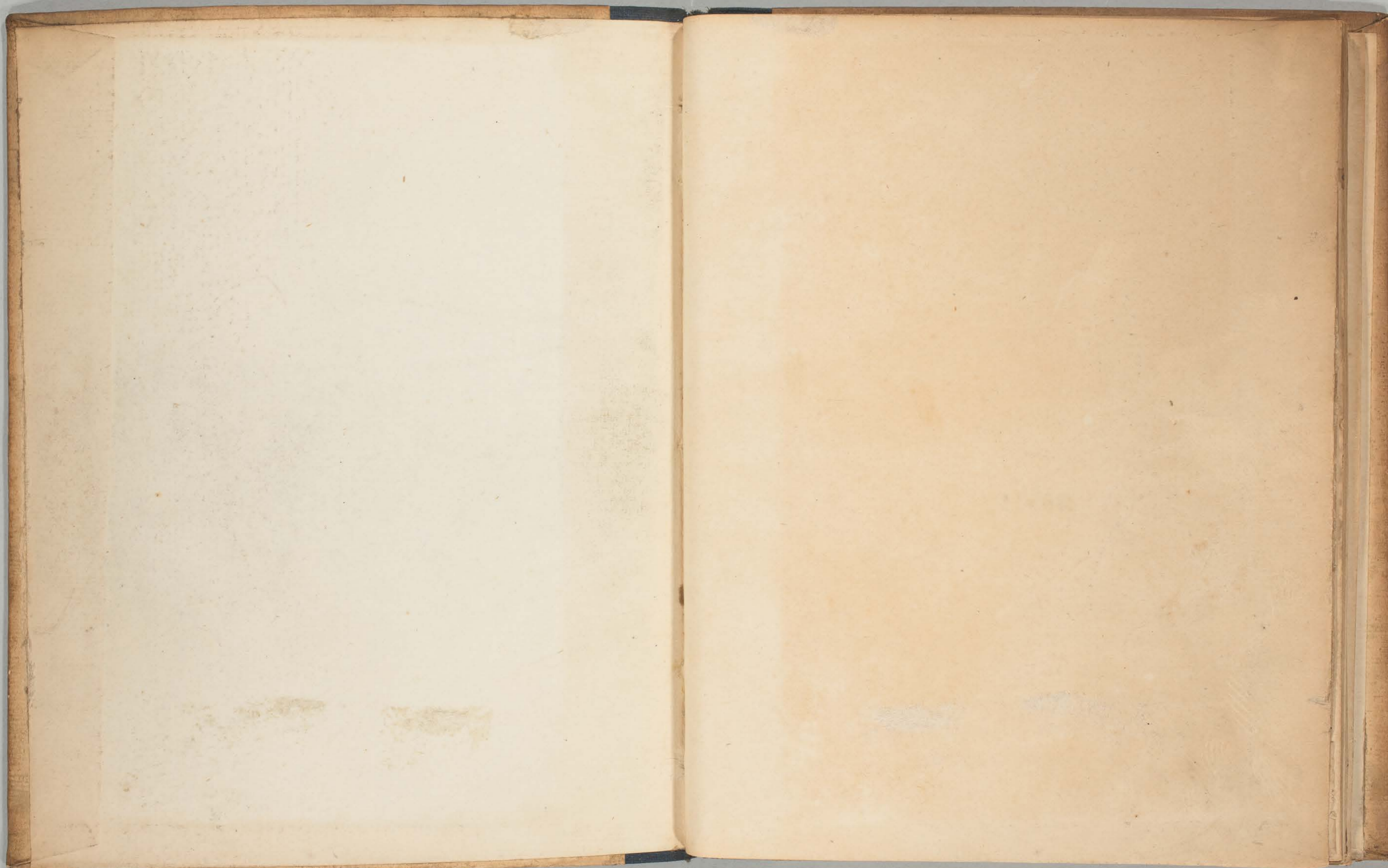
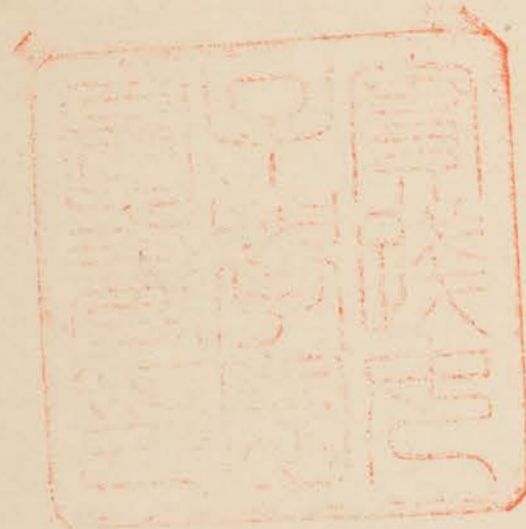


CATALOGUING OF EUROPIAN BOOK.
RECTUROR MANKICHI WADA. 1926.







36511

洋書目録法

第一章 洋書の成り

1. 洋書の成りの順序:

- Back title, or Binder's title
- Half title
- Title : written on the "Title page"
- Copyright date : 版權年次
- Preface :
- Contents, or Table of Contents
- List of illustrations
- Introduction
- Body of the book
- appendix
- Index

2. Title page :

Title ; Author's name ; edition ; place of publication ;
publisher's name ; date of publication

a. Title は書中のSubjectに対お概念を示すものである。著述の観念、記載の範囲、記載の方法、程度、読者の種類階級の手掛かりを示す。

ex. Introduction to ; Principle of ; Manual ; Handbook

b. Author's name 多くの場合書中の内容の要を定むものである。これに附属して "by the same author" も用いられ、著者の所属する学問、社会の地位等を用いられる。

c. Edition Rev. ed. [Revised edition] Rev. 4

d. Place of publication

著者の口籍を表現するところがある。(ex locomotive) 但し最近ではこの標準に拘束されず、
出刊のところが、大体に記述される。又著者の住む都令に於て初版を出版した
ところが、今は各都令に於て出版のやりかたが、一般にその初版は、その都令のものとされ、
従つて Place of publication の如何は、事に依り同様のものがある。

e. Publisher's name は著者の信用を定むる上に著者と合せて判するところがある。

f. Date of publications 古くから記述は年代の古い程、Scientific の本に於ては
これに反対で、各種事象も後に集め、その興味ある、史料的にのみ、価値がある。

3. Copyright date :

版権許の法は、大抵二十年(我國では二十年)を定め、法律に於て出版許可の権
利を与へることで、改版毎に Copyright を受けべきである。故にその本の内容に關し
ては Date of publication にもよる、価値附けのことが多い。

* Preface :

著作の理由、動機、読者の範囲、階級、著述の資料等を述べておから、これによつて
内容の梗概を知り得る。昔は目序は少かつたが、最近では多い。著者の solution である。

5. Table of Contents

6. List of illustrations

7. Introduction :

読者をして内容に入る前に準備させるもの。其本文の Chapter 1 もあるところがある。
本文の事象を概括して記述するものもある。

8. Body of the book :

note は本文中に事象に關する思想を混同させることがあるので、これに該当する底稿に書け
る。先哲の言葉、Reference、同書中の他の部分と参照するもの、事中的説明等がある。

9. Appendix

10. Index : index の中に index 同様の index がある。これを Cross reference とする。

第二章 目録 ; 目録の記入

1876 年の末頃に於てある目録については定まつた規則はあつた。C. C. Jewett 氏が 1853 年に
図書館目録構成に關する論文を出した。1876 年には Charles A. Cutter 氏が Rules for a
dictionary catalogue を発表したが、その以前には Jewett 氏のものが unit であつた。

Cutter 氏はリスト方式に對して訂正を加へて、その後に於て初めて定事に述べた。これを改訂が採用は
れた。

Cutter 氏の目録検索者の便利を計つたもので、編纂者の利のみであつたと云ふことは、
この Rules は必しも dictionary catalogue にかぎらず、author's catalogue にも Subject
catalogue にも class catalogue にも作られるべきである。そのうちこれに對する推薦ある Rules
for dictionary catalogue は第一のものであると云ふべきである。

1. Dictionary catalogue :

この長所は A 図書館に來る読者の質問の大多數に答へることが出来ること。

B 様式規則を考へる方が容易に出来ることと得ることが出来る。

即ち、記入事項の如何を論ぜず、一つの alphabet の順に系統をいへるので、一つの改訂も
見れば一つの dictionary が見ることが出来る。(二重目録) 故に読者の階級の差がある。

上述の長所の A を細目おれば、

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| a. 或著者の著述の如何なるものがあるか | [Author's entry] |
| b. 或特種の事項について如何なる事象があるか | [Subject entry] |
| c. 或事象の title を知つて、その有無を尋ねるとき | [Title entry] |
| d. 或 collection の中に入つてある事象の有無 | [Series entry] |

2. ~~Class~~ Class Catalogue :

かく Dictionary Catalogue は理想に近いが、これも万能であるとは出来ず、即ち或特種の
form の書物の有無に答へ得ない。この缺點を補ふものが Class catalogue である。

3. 目録製作上の注意:

1. Entryの撰定. 第一に撰定すべきは何か、何を標準にして撰定すべきか、と云ふことはこの図書館の性質によらねばならぬ。経費も考慮に入らねばならぬ。即ち、分類目録に於てはこれに對する索引を作るのは大に手取ではあるが Dictionary Catalogに於ては大に費用を要す。

又印刷目録に於ては「不進歩の図書館はいざ知らず」印刷に時日を要す故 Card 式を便とす。

又大図書館では Catalog といふ list を作ることも、この一方部門目録、Special or partial Catalog を製作す。

一般に通例のある図書館では Dictionary C. 字序のあるでは Class C. を用ひ。

II. 用紙 Card は Standard size card と云ふのが、これは $12.5^{cm} \times 7.5^{cm}$ 計のものを用ひ。Card は片面のみを原則とし、長い記載に於ては二枚三枚の Card を用ひ。又は二枚以下は色を変へ連続する Card であることもある。(箱へ入れの前には bind しおく) 紙は成べくよいものを用ひ。一枚の card には一冊の本を記入することを原則とす。

Sheaf catalogue [集葉目録] や大開きのうまい Card を綴り(自由に、後に)書物の開いたもので、普通の本をみやすいにあり、携へるにも便である。これは寧ろ大図書館では用ひる研究本と云ふことに用ひ。欧米では用ひ。

III. 書方: 文字は明瞭、平明。殊に著者名に気を付ける。 為 Library Primer, P. 79.

Typewriter は Hammond を用とす。

4. Punctuation:

1. Alternative title ~~この本は~~ これは、本 title 以外に一つある title、
るときにはこの 'に' ":" を用ひ、
_____ ; or, (Alternative T.)

2. Explanatory title (or, subtitle) のある場合には main title との間に ":" を用ひ。又時にある接点と感点とは "." で m. t. と云ふ。一つの sentence と云ふ前後を続けあらう語がある。

3. Title に附けるものにはつねとすれば、この間に semi-colon を入る。

o with = avec = mit

by = par = für

V. Capitalization: 表題には常用 capital を用ひ、そのつぎの字は小文字とす。 The Great Fire. The Lombard Plot. The

War of Succession 等の、ある件に於て特定の意味をもつ普通名詞。又 Japanese 等固有名詞から普通名詞にあつたものは Capital にお。

一般に Greece, Latin, France, Italy, Spain 等の国名にあつた Capital が多く、独逸語は多い。(独逸語にあつた普通名詞の地方から出たものは C. を用ひ)

VI. 年代の記載: 凡そ数字は Rome 数字を Arabia 数字にして用ひ、King や Emperor の時代は Rome 数字を用ひ。

VII. Title page の国語: は Rome 数字にしておつたものは、その言葉も他の国語に翻訳してある。 Greek は普通 Latin 語とす。 Rasia 語は Rasia, French 語は France である。若しは照して Rome 字の title がありときは英語に訳す。かく title を国語以外の国語にあらはしなくては 原語の種類とあつて、title が訳されたこととを明記する必要がある。 (in Russian, in Greece, etc.)

Title p. の言葉と訳すことは書目字の旨趣に及ぶに及ばず、通俗図書館に於ては標記とせば、和語名がこれと半にの概念がある。(Music のこと) 併し専門上の図書館では必要があり。

VIII. 出版年代をあらわす記号: 出版年代の重大なものは殊に science に関する

M=1000 D=500 X=10 I=1

C=100 L=50 V=5

3 年^に於て selection の標準にあるものから是非^に記入せしむるものは edition が出たとき
は出版年代に改訂年代を代へ。又著者は比較的年代がいろいろあるがこれに必要
と認めなければならぬ。年代の要不要は著者の同一様であるが Cataloguer は一様に
出版年代を記す必要がある。

複製本の出版年代。古書の複製本に際し今では原書の発行年代を¹⁸¹しなくては必要無
即ち旧本の複製年代を記す。この年代は原書とほぼ同様の複製年代は必ず旧年代を記す必
要がある。

X. Descriptive note のこと。これは title page から記せられ、目録には
著者及び理解を助けるに必要である。これは、希望と必要と、その他の種々なものは
あるが、いづれも著者の便利である。これは、著者の、著者の、要約のようであるが必
要である。note は全記入の場である。他の条件とあつて、印刷の場には
は一考すべき文字を用ゐるといふ。

ex. Marie, H. W. &c. eds.

Heroines that every child should know.

(The heroines here represented are: Alcestis,
Antigone, Iphigenia, Paula, Jean of Arc,
Pocahontas, ... Florence Nightingale.)

第二章 記入法: Principal entry

Principal entry とは Author's entry とある。事項編纂法に於て多くの人の名に達する一級は著
者は、一つの事項を最も速くお記入してこれを著者の名に記す。

著者の名は事項を記す基本であり、初め事項があるおの著者記入の記入をかくも同様に記す
author's entry をしつておとす。故に記入の根本は著者記入である。Cataloguer はこれを記す目録を
事項と記入するものは、先づその事項の表紙にある事項を分る。その事項を half title とする
これは title page とする。その中から必要の事項を記入する。(これはその事項について一とある
時に記すのである。その時他の部分に記す補ふ)。

その項目の明記: 1. Surname 2. Christian names or fore-names

3. Title [著者の名を必要に応じて著者区別のために用ふ] 4. Book title

5. Editor; or, translator 6. Edition 7. Place of publication

8. Publisher 9. Date of publication 10. Number of volumes

11. Number of ~~volumes~~ pages [1 vol. の本に限り記入] 12. Illustrations

13. Size [Length or fold] 14. Names of series

(15). Note; or remark [Explanative or descriptive.]

(16). Contents (17). Place of printing & printer's name

N.B. 記載の明記は略しこれであるが、下に記すのは、その規定に従ひ多少の変更である。

1. Surname: ex. 1. Milton, John (In America, this is better.)
Milton (John) (In Europe)

ex. 2. Ploetz, Carl.
Epitome of ancient, mediæval and modern history.
In. with extensive additions
by William H. Tillinghast.
4 ed. Boston. Houghton. 1887. Xii+618 pp. 12°

N.B. 1. Title pageのpunctuationの不備を補ふこと

2. Capitalを判断すること

3. 古きSpellingはそのまゝ採用すること

2. Christian name :

Title pageにあらはれ入る一人の人にかゝる種には注意を要す。Initialを完全にする必要があつた。—— to give the name in full —— されば一般に知らずの余計なものは人名字事によつて見るときにきつていふ。あまり潜索することは不必要であつた、頁数が普通月多にわかれ

ex. Edward S. Morse Charles A. Cutter John S. Billings

同名異人を区別する場合 : SurnameにLと Brown, Smith, Davis 等は多

同姓同名のものを区別するに可なり。これに用ひる word は 1. 地名

2. 職業 3. 官職 4. 称号 等である。British Museumの目録を見よ。

John Smith といふ人は無数にあり。之を区別するに可なり。その一例

ex. Smith, John, Advocate in Aberdeen.

" , Artist.

" , Barrister.

" , Bookseller.

" , Captain, aide-de-camp to Lord G. Sackville.

" , Captain, late of London, Merchant.

父子 Christian name を同ふ場合 :

ex. 1. William Pitt, the elder. Alexander Dumas.

William Pitt, the younger. Alexandre Dumas, fils.

Croq, Jean.

Colman, George, the elder.

Croq, Jean, fils.

Colman, George, the younger.

Van der Meer, Jan, the elder.

Van der Meer, Jan, the younger.

ex. 2. [elder = senior = sen.
younger = junior = jun.]

Cromlin, Hermann Arnoldus, sen.

Crommelin, Hermann Arnoldus, jun.

ex. 3. [在官名、貴族等にあらはるる尊号によつて区別出来る]

Pitt, William, the first Earl of Chatham.

Pitt, William, the Right Honourable.

ex. 4. [年代に依る比較的に効果がある]

Dumas, Alexandre, 1803 — 70.

Dumas, Alexandre, 1824 — 95.

附. 同朋若衆の場合 :

Title pageには單に Grim brothers, Brontë sisters といふこと

Catalogueへは各人の名を書かねばならぬ。

ex. Grimm, Jakob Ludwig. } = Grimm, Jakob Ludwig & Wilhelm Carl.
Grimm, Wilhelm Karl. } [In Cat.]

Brontë, Charlotte } = Brontë, Charlotte, &c.
Brontë, Emily }
Brontë, Anne }

附. These Brontë sisters have pen name each other:

Bell, Currer.

Bell, Ellis.

Bell, Acton.

N.B. 1. "Brothers" of Surname であることがある。

ex. Francis Brothers.
Richard Brothers.
Thomas Brothers.

2. "Senior", "Junior" と Surname とお人がある。

ex. Nassau William Senior.
Thomas C. Junior.

The reference book:

[In English] Phillips, P.B.: The dictionary of biographical
reference, containing one hundred thousand
names. 1871.

Lippincott's pronouncing biographical dictionary.
Dictionary of national biography.

Allibone's critical dictionary of English literature
and British and American authors. With suppl.

[In French] Biographie universelle. 1842 — 65.

Vapereau: Dictionnaire des contemporains.

[In German] Allgemeine deutsche Biographie. 1875 — 98.

変名 pseudonym にて表はされる著者のあかし方:

本名も本姓も変名も副姓も入へて入るものが普通である。変名である場合はその名はあては

ないことも多い。その変名を見れば、まづはい変名がある。

ex. 1. Aggravating ladies. By Olphar Hamsto.
Lond. 1880. 58 pp. 8.

See Ralph, Thomas.

ex. 2. Thomas, Ralph. (Pseud. Olphar Hamst.)
Aggravating ladies. London. 1880. 58 p.p.

ex. 3. [Pseudonym of Real name ありあつた場合]

George Eliot = Mary Ann Evans.
(Eliot, George. see Evans, Mary Ann.)

Mark Twain = Samuel Langhorne Clemens.

George Sand = Madame Amantine Lucille Aurore, née
Dupin.

ex. 4. [一時だけ Pseudonym を用いた場合] There is no need to refer

Sketches by Boz. [By Charles Dickens]

Titmarsh = William Makepeace Thackeray.

N.B. 要するに一つの目録には一著者は一人に於て表はれるべきに於てはよい。

ex. 5. [著述の種類により異なるに於て]

John M. Watson. (小説家)

J. E. Muddock. (Novels)

John M. MacLaren. (小説家)

Dick Donovan. (Detective S.)

(In Cat.) MacLaren, John M., pseud.

See Watson, John M.

Initial の著者の取扱い方:

ex. 1. Common sense about government offices.
By S. Lond. 1875. 8°

ex. 2. Handy book for volunteers. By Captain A****
Lond. 1862. 16°

N.B. 1. この際 Initial の Dictionary により表はるか、それでも表はるべきものは、
そのまゝ著者名にある。この時の Initial が数個あつた場合には最後のものが
Surname である。

N.B. 2. Initial は多く著者の名に同じものであるが時に、著者の資格、称号等の
Initial である場合がある。この時はこれを著者名と認めるべき。

ex. By an M.A. [Master of Arts]

N.B. 3. 時に Surname まで Initial をもつてあらはすときがある。

ex. A. H. K. B. = B[oyd], A. H. K.

B, A. H. K. see B[oyd], A. H. K.

N.B. 4. 勿論この時も Alphabet の 113 にあてはめなければならぬ。
Aa は A. H. K. であつて 113 にあてはめられるものである。

"Nothing" precedes "something."

Reference books about pseudonyms, or initials:

Cushing: Initials and pseudonyms.

* Halkett & Laing: Dictionary of the anonymous and pseudonymous literature of Great Britain.

Querard: Les supercheries littéraires dévoilées.

Weller: Lexikon pseudonymorum.

Anonymous work の author に ついて:

如くあるに name の字が 113 を得られなければ書えり入らぬものがある。

R. B. Barbier: Dictionnaire des ouvrages anonymes.

[Many Greek author & some English author included.]

ex. [有るある著者で書かれたもの]。

The country girl. [Garrick, David]

cat. Country girl, The. See Garrick, David.

N.B. The angler; a poem.

By Piscator. (meant "fisher", a pseudonym or, anonym)

[Lathy, Thomas R.] See.

Piscator, pseud. Angler, The.

See Lathy, Thomas R.

著者名、著書名を以て代用せらるる場合には、此等には古参等であることを示すために前に何か文字がある場合、それを示す。

ex. 1. King of the castle.

By the editor of "The children's friend."

London. 1913. 8°

ex. 2. The giant.

By the author of "A fairy tale for the nineteenth century."

London. 1871. 8°

N.B. 1. 以上二種は、2 のまゝ著者同様に記入せよ。或は下述の如き方法をとり得る。

ex. 1. Children's, The, friend, the editor of ~~King of~~

King of the castle.

London. 1913. 8°

ex. 2. Fairy, A, tale for the nineteenth century,
the author of
The giant. London. 1871. 8°

N.B. 2. 113 にあつて著者があつた場合

ex. Ed. by the editor of "Amy Herbert"

[Swell, Miss E. M., ed.]

[] の符号は、東京にはなく、通國で書入るべき場合には必ず用ゐる。

Greek, Latin の人の名の取扱ひ方:

Greek, Latin の人の名が近代の名に書かれないので多様になる、844 は

English.

Original.

Homer

Homerus

Aristotle

Aristoteles

Plato

Platon

Virgil (Vergil)

Virgilius

Livy

Livius

Horace

Horatius

又各言語と比較して見れば、

ex. 1. Homerus.

Engl.

Homer,

The Odyssey.

Fre.

Homère,

L'Odyssee.

Ger.

Homer,

Odyssee.

Spain

Homero,

La Odyssea.

Ital.

Omero,

Dell' Odissea.

ex. 2. Horatius.

E.

Horace,

Art of poetry.

F.

Horace,

L'art poétique.

G.

Horatius,

Des Dicht kunst.

S.

Orazio,

Arte poetica

I.

Orazio,

L'arte poetica

此を各語に統一せしむる必要があり、Greek まづ オ の字を オ の字に Latin に エ とす。

ex. 1. Homerus.

Homer's Odyssey

(E.)

L'Odyssee

(F.)

etc.

ex. 2. Horatius

Flaccus, Quintus.

Ars. poetica. (原)

"

Art of poetry of Horace

"

Art poétique de Horace

N.B. 1. Latin 語で書かれた本には、著者が所有格に変化してゐることがある。

ex. Quinti Horatii Flacci Opera Omnia.
(集作品) (全)

Quintus Horatius Flaccus.

N.B. 2. Latin の人名は最末が Surname であるとは限らぬ。

ex. Publii Vergilii Maro Aeneide.

cat. Vergilius Maro, Publius,
Publii Vergilii Maro Aeneide.

N.B. 3. 藝名、雅名その他の場合は参照を要す。

Virgil. See Vergilius Maro, Publius.

Omero. See Homerus.

近代の著者名を Latin 名に直してゐる例、又その取扱方：

十六、七世紀までは多くの著者が、先づ Latin で著述をし、後自國語に書いたものである。
これは一掃に通じることがある。従つてその著者と Latin 風に書いてあるのを注意。

ex. 1. Francisci de Verulamio (1561—1626, English man)

Novum Organum.

cat. Bacon, Francis, Lord Verulam.

Francisci de Verulamio Novum Organum.

ex. 2. Thomae Hobbes Malmesburyensis

Opera philosophica

cat. Hobbes, Thomas, of Malmesbury.

Thomae Hobbes Opera

ex. 3. Salisbury, Henry.

Grammatica Britannica, Henrico

Salisbury Benbighiensi autore

Londini. 1593. 8°

次に Christian name の各國稱を示せば。

Latin.	Eng.	French.	German.	Italy.	Portuguese.	Denmark.	Spain.
Carolus	Charles	Charles	Karl	Carlo	Karel	Carl	Carlos
Henricus	Henry	Henri	Heinrich	Enrico	Hendrik	Hendrik	Enrique

R.B. Lippincotts: Biographical Dictionary.

件名目録に出てくる人名の扱い方。

この場合も著者名目録に於ける著者の扱い方とは異なる。これは Subject of Biographies として出てくるものが多いのである。従つて、これは皇王、貴族、聖徒、高僧、法王等、次に学者、軍人、探險家等が多い。これは Christian name であるのが規則である。

ex. Alfonso I., king of Portugal. (1)

Paul, St., (2)

Paul III., pope. (4)

Thomas a' Becket. (3)

貴族が自身著述をなす場合：

この場合二通りの取扱方がある。

A. Title of nobility で出し、本名を参照で取る。

B. 本名をとり、Title of nobility を参照で出す。

而して、貴族は Surname で知られてゐるから、前者が勝つてゐるやうである。

ex. Disraeli, Benjamin, Earl of Beaconsfield.

Bacon, Francis, Lord Verulam, Vicount St. Albans.

Stanley, Edward Geoffrey Smith, 14th Earl of Derby.

R. cat. Derby, 14th Earl of.

See Stanley, E. G. S. 14th Earl of Derby.

Campbell, George Douglas, 8th Duke of Argyll.

R. cat. Argyll, 8th Duke of.

See Campbell, G. D., 8th Duke of Argyll.

N.B. 貴族の称号。

Eng.

French.

公

Duke, or Prince

Duc, Prince

侯

Marquis

Marquis

伯

Count

Comte

子

Viscount

Vicomte

男

Baron

Baron

準男

Baronet (Knight)

Baronnet

N.B. 貴族の称号以外のものをもつて貴族を表現するものがある。

Knight = Baronet

the Right Honourable William Pitt.

Müller, Friedrich Max, the Right Honourable.

Knight of Garter = K. G.

Knight of the Bath = K. B.

Knight Commander of the Bath = K. C. B.

結婚した婦人の名のとり方:

これは一般に功の一部とも見られるが、他とは異なる。これは末式と英式との2の名の取り方に二通り。

A. 1. 結婚した婦人はその最後の名でとる。

2. 但、常に旧名(生来の名または先夫の名)にて著述を出版したもののは旧名にとる。

ex. 1. Stowe, Mrs. Harriet Elizabeth (Beecher).

ex. 2. Braddon, Mary Elizabeth (Mrs. John Maxwell)

N.B. Maxwell, Mrs. John. see Braddon, Mary Elizabeth.

N.B. 夫人の名をあらはす二通りの書き方。

ex. a. Maxwell, Mrs. John.

ex. b. Maxwell, Mrs. Mary Elizabeth.

B. 結婚した婦人はその著者となつてあらはれは最初の名でとる。

ex. 1. Braddon, Mary Elizabeth. (afterwards Mrs. John Maxwell).

ex. 2. Robinson, Agnes Mary Frances.

(afterwards Mrs. James Darmesteter: afterwards Mme. Duclaux.)

東洋人の名の取扱い方:

東洋人の名が稀にRome文字で書かれたことがある。西洋人と異つて姓にあらはれる名は通称の前後の字が多いから大抵の場合には元の配列順にかげればよい。但し、その名よりは他の名でその名に多くあらはれる場合はその名より取る。その名は参照とす。されどこれは甚だ難解なれば良好なる東洋人名辞書を用ひべし。

① Beal's Oriental biographical dictionary.

アラビヤ人、とる2人等の名は通例甚だ長い、これは家族関係をあらはすものが入つてゐるからである。故に、その主なる名を判別おとせばむづかしい。

ex. Abū Baker ibn al-Jufail, Abū Ja'far, al-Ishbili.

1. Abū Ja'far ibn al-Jufail.

(Main card)

2. Ibn al-Jufail, al-Ishbili.

(Reference card)

3. al-Ishbili.

(")

また山や河の名を口ずかす名とあるものもある。

印人等はほとんど著者にあるものから取つてよい。

ex. Mahādeva Govinda Rānade.

(Main card)

Govinda Rānade, Mahādeva.

(Reference card)

Rānade, Mahādeva Govinda.

(")

Editor, translator & continuators の姓名の取扱い方:

これは特異に著者の死入と異なる所はない。但、author があつて全名は著者に参照として用ひられるものであつた。これはauthor のない場合、これは著者と同様に扱はれるのである。

3. 全著者 joint-author の取扱い方:

二人又は二人以上で著書をおくるときはこれをあらはす。

A. 著者が二人のとき。この場合はあらはれあつたかゝり。前者と後、and, et, und, y. をしつてゐる。この conjunction を国語にうつすか、一ヶ國語に一語あつた西語があつた。後者の場合、これをを用ひるが便利である。

ex. 1. (a) Stansbury, Joseph and Odell, Jonathan.

Loyal verses, relating to American Revolution.

(b) Odell, Jonathan, joint-author.

Loyal verses

see Stansbury, Joseph & Odell, Jonathan.

ex. 2. (a) Bücheler, Franz und Zitelmann, Ernst.

Das Recht von Gortyn.

(b) Zitelmann, Ernst, joint-author.

Das Recht von Gortyn.

see Bücheler, Franz und Zitelmann, Ernst.

B. 著者が三人以上のとき。この場合は著者の名を取つて "and others" としつて補ふ。又 etcetra の略 etc. を用ひてもよい。

ex. (a) Chester, Henry Clifford, and others.

Physics, theoretical and descriptive.

By H.C.C., J. Stewart Gibson, and Charles E.

Zimmerman.

(b) Gibson

Zimmerman

著者の場合は五人までとる。多きは etc. としつて置く。参照も三人までとる。又は略すとをうける。

この参照とて Added entry or sub-entry を用ひることもある。

ex. Gibson, J. Stewart, joint-author.

Physics, theoretical and descriptive.

By Henry Clifford Chester etc.

London. 18--

これは、これは著者に二に推定あるから参照ですませよう。

H. 二人の作家がある。一人が画家で、その作品を集め、^E 別の説明をつけた一冊は、その説明を著者と画家と合意と見られる。画家のみならず。その説明の著者にも参加はする。

ex. Burgess, W. W.

Bits of Chelsea:

a series of forty-one etchings; with letterpress descriptions by L. Johnson & R. de Gallienne.

R.C. 1. Johnson, L.

R.C. 2. Le Gallienne, R.

N.B. 稀に二者共に重要視すべきものあり。この場合には、著者として本記入。画家を参照として出さる。

ex. 1. Hone, W.

Facetiæ and micellanies, with one hundred and twenty engravings by G. Cruikshank.
(Cruikshank is a satirist and the author of "the bottle".)

ex. 2. Ruskin, John.

The harbours of England, with illustrations by J. M. W. Turner; ed. by T. J. Wise.

R.C. Turner, J. M. W. See Ruskin, John.

E. 準著者の扱い方: 準著者即ち編纂者、翻訳者等は著者の位置に置かれる。或はの通り著者のauthorの論文を集めた事には出版者即editorあり。これはこの書の著者と見られる。書中の作者の一二をもつて著者と立つべからざる以上は、この準著者をもつて著者の位置を定めしめる。又他人の著述に註解等を加し、手にする者をもつて出版者である場合に原文を伴ふものは著者として本記入を要する論例にも。共に著者伴はず。出版者の著作のみとして出せるものはeditor, compiler, translatorの各を本記入とす。又各種の材料を集めて一冊を著する人はauthor又はcompilerとすべきなり。compilerはその本の責任者たる事他のauthorに準ずる。これを以て、著者の位置に立つなり。又著者及び著述の事は著者の分限の場合は勿論、その人の著として本記入を要せし。其れを認めるとは著者としてauthorと見られる。此等の出版者 publisher, 註解者 compiler, 翻訳者 translator 等に關する人々の取扱ひ方は凡て尋常の著者をもつて同様に同じ。

5 団体名の取扱ひ方.

個人の名に著者の集合の団体 Corporate body (or bodies), 2/1/1/2/3

- 種のものあり.
1. 結社 (societies)
 2. 建設物 (institutions or establishments)
 3. 政社又その部分 (government & its divisions)

A. SOCIETY

1. の society は著者著作、著者校訂、著者法典、^同 一國のものに初めとして、著者の種々の結社を含む。その中には國郡、府縣等の地方の各種を冠せしもの、及傳書部、若工業組合 (gilds)、宗教の結社、密秘結社 (secret socie)、子供の校友會同窓會、青年学生会、政黨、皇室等の団体がある。オニの建設物を除く凡ての。

society を記入するには該団体の最初の語 (但し冠を除外) を記入し、若し他種にとりたるもの以外に并置に添くものがあるときは、その著者の参照を附す。その名前は、その地方の地を参照ありとし。

ex. 1. Zoological society of London

R.C. London, Zoological Society of.

ex. 2. Société chimique de Paris.

R.C. Paris, Société chimique de.

See Société chimique de Paris.

ex. 3. Verein für Erdkunde zu Leipzig.

R.C. Leipzig, Verein für Erdkunde zu.

ex. 4. Senckenbergische naturforschende Gesellschaft, Frankfurt a. M.

R.C. Frankfurt a. M., Senckenbergische naturfor. G.

② society — société — Gesellschaft, Verein.

N.B. 其の州を結社は殊にその習慣に從つて。

1. 其の州を結社の歴史會、農業學會及醫學會は、^著 例に依りて維持せしむべきにかゝる。その外名の下に記入す。

historical society.

agricultural society.

medical society.

ex. New York historical society.

New York state historical society

2. 慈善、教化及事以外の結社は、^著 例に依りて地方のものはその土地より記入す。

benevolent society.

moral society.

上記のみにあつて別項。

1. 国際的結社。

多くの国々には又は種々の口々に公認の名称を有する結社は若し公用として其
言語を許すものは其語に之を記し、或るものは最もよく用ゐる名式
(official form of the name) に記すべし。

ex. 1. International Maritime Association.
Association internationale de la marine.

ex. 2. Internationale Erdmessung.
Association géodésique internationale.
International Geodetical Association.

2. 同窓会. Alumni society

予校の他の同窓会はその名称の記入より記す。

ex. 1. Johns Hopkins University, Society of Alumni.
Smith College, Association Alumnae Association.

ex. 2. École des chartes.
Paris. École des chartes. Société de l'École

3. Gild.

その存在が都市の名を初めに記す。

ex. Sheffield, Eng. Cutlers' Company.
London, Merchant Tailors' Company.

B. institutions

2の institution はその所在地の處から記す。

ex. Boston. Museum of Fine Arts.
Edinburgh. Advocates Library.

免に角、久の建築物を有するものがその所在地を以て記すとはある。建設の中
個有のものを有するものはそのオーのものを記し、その所在地も参照をすべし。

ex. 1. Columbia University in the city of New York.

R.C. New York. Columbia U. in the city of.
See Columbia U.

ex. 2. Tate Gallery, London. [District of Columbia]

3. Smithsonian Institution, Washington, D. C.

4. Newberry Library, Chicago.

5. Victoria & Albert Museum, South Kensington.

N.B. 2. 大学の中にある Collage は大学の名称の下に記入し、予校又は予校の副標題
として出す。

ex. Cambridge University. King's Collage.
Trinity Hall.
Columbia University. Bernard Collage.
School of Applied Science

ex. Cornell Univer. Veterinary Collage of the state of
New York.

N.B. 3. 予校又は大学に附属する多くの研究室、図書室、博物館、実験場、植物園、動物園、
医学校等はどの型に予校又は大学の名称の下に記入す。

ex. Fitzwilliam Museum.
Cambridge University. Fitzwilliam Museum.
Library

Oxford University. Bodleian Library.
Yale University. Peabody Museum of
Natural History.

Berlin. Universität. Seminar für deutsches Recht.
Anatomisches Institut.

Paris. Université. Musée Dupuytren.
Laboratoire à l'Institut Pasteur.
Faculté des sciences.

N.B. 4. 公共の学校に於て教授に維持せしめたるものはその所在地の處に記す。而して予校を以
て参照とせよ。

ex. New York, city. Morris High school.
R.C. Morris High school.
See. New York, city. Morris H. S.

Leipzig. Thomasschule.

Edinburgh. Sciennes School.

N.B. 5. 米国の建設の諸建築物は所より記入す。

ex. California. University.
New York, state. University.
Illinois. Asylum of Feeble-minded children.

N.B. 6. 国々の建築物(皇=帝立 Imperial, 王立 Royal, 国立 National 等の字を含む
めり)はその所在の都市の名の下に記す。必要とせば、故に之に記す
口々に記入すべし、但し建築物の所在に於て所在の都市を記すべし。若し
疑あるときは都市の名の下に記入すべし。

ex. Bibliothèque Nationale, Paris.
S. France. Bibliothèque Nationale, Paris.
Wales. National Library.
Victoria, Australia. Public Library, Museums
and Art Gallery, Melbourne.

N. B. Laws:

1. 一勘定法令等、法典、特特殊事項、に依る法律、單行法令等は國、又は州の名の下に記入す。若し編纂者、出版者あれば、之下に参照を附す。
2. 法律註解を他の編纂物は其法律の全文をいかげず、一部分を引用せるもの、註解者の勞力が、其事の持出を要する時は之を以て出す。
3. 法律報告 (law report) は單一の裁判所の報告は其裁判所の名の下に出す。但報告者、編纂者、編輯者等の名に参照を伴ふべし。
4. 法律報告の註解は、註解者の名に以て出す。
5. 若し重訂者等の時は之を以て出す。
6. 其報告が或特殊の裁判所を以てする時は其裁判所の名に以て出す。

法律報告の注解書にして著者ありとはするに記入す。もし該事か85種の裁判所に1回あるもの
なりときはその裁判所のみにて出す。は裁判所によりて場合によりて裁判官

上告(控訴)は214はあしたの辯護の名にて出る。

Constitutions は国又は州の名に2出し, Constitution の副標題を出す。

ex. Great-Britain. Constitution. —

U. S. Constitution. —

國際條約 (Treaty) は

- 1) 単一の條約は title page に最初に載せる地 party の名の下に ~~the~~
副標目 treaties あり注をかいけし。出す。
但し主要に取られずし地 party の名あり副記入を出す。
- 2) 数ヶ国の條約を集めたものは締結者の名にて出す。
- 3) 或一國が他の國々と序結せし條約を集めたものはその條約の相手
とある一國の名を出す。この場合 title page の名に取られし。

上述以外の諸団体又は組織(organization)の取り方。

甲 會議 (conferences, or congresses)

乙. 展覧会 (exhibition or exposition) この地では(年)に1回のもの

商売他産業上の集合

委员会

市民会 (一定の団体又は組織に附属せざるもの)

宗教上の会議 (ecclesiastical councils)

基金 (foundations; or endowments)

探換 (explorations)

等につきは凡そ下の如くす。

争につまは凡そ下の如く。
1. 外交上の会議 (diplomatic congresses) は集合地の名にて出す。

ex. Vienna, Congress of, 1814 — 1815.

Paris, Congress of, 1857.

The Hague, International Peace Con., 1899.

Conference

2. 私人の国際的会集 (International meetings) は若し其出版あり、
English にて書かれ、又は公認言語 (official language) にてあるときは
其集會名を英語にて記入す。若し其出版あり、或他の言語に
記されるときは其言語に記す。また其字數をあるときは其集會の一般名に
記す。

ex. International Congress of Demography.
International Congress of Bibliography.
International Congress of Orientalists.

但し伊等の場合は参照せよ。

3. 博覽會 (exhibitions), 慈善賣品會 (Bazaars) 等は其開催地の
記入す。

ex. London, Franco-British Exhibitions, 1908.
Chicago, World's Columbian Exposition, 1893.
Buffalo, Pan-American Exposition, 1901.

学会協会の發起にかゝる博覽會考査會 (殊に開催地を代へて四半年度
毎に催はる) 等は其會の名に記す。

ex. Franklin Institute, Philadelphia.
Report of the exhibition of
American Manufactures.
California State Agricultural Society
Annual fair, 3rd, San José, 1856.
4th, Stockton, 1857.

4. ecclesiastical council の場合は其會の開催地にて記入す。凡そ
Christ 教の會は同様に取扱ふ。

ex. Nicaea, Council of, 325.
Trent, Council of, 1545-63.

5. 一時限の集會に其のうちに國體に属せざる諸會等は其會名に記す。

ex. International Congress of Arts and Science, St. Louis, 1904

種々の會、政治國體、宗教國體等の時を以て行はるものも、これに準ずる。

6. 市民 citizens の會又は委員會にて、其市民が、或特定の國體又は階級に属せ
た場合、且つ一定の名稱を有する場合は、其會名又は委員會の名は其土地の名に記す
但し、citizens なる標目を、その次に記す。

ex. New York, city. Citizens.
Proceedings of the mass meeting of citizens
in the Cooper Institute,
New York March 24, 1874, on national finance.....

7. 特定の institutions 等の國體は、其属する會、又は國體の名にて記す。

ex. British Museum, Trustees.
Smithsonian Institution, Board of Regents.

8. 商工會社 Firms 即 firms は其土主の名にて記す。

ex. Macmillan & Co.

9. 基本資 Foundation, endowments は其名稱にて記す。

ex. Nobelstiftelsen, Stockholm.

Egyptian Exploration Fund

但し特定の建物は其属する建設物の名にて記す。

ex. Michigan, University. Harris memorial trust.

10. Exploring expeditions

A. 探検遠征の成績報告その他記事は其土主の名又は階級の名にて記す。されど其の報告が、
一個人又は二人のみにあつた場合は限る。

ex. Narrative of the United States exploring expedition
during the years 1838-1842. By Charles Wilkes.

B. 若し其の報告記事が、数人の會社或は其の事件の一に記されし。

1. その遠征の報告は其土主の名 official name にて記す。副標題には其遠征の事と副
ぶ。

ex. Expédition antarctique belge, 1897-99.

Résultats du voyage du S. Y. Belgica

en 1897-99 sous le commandement de A. de

Gerlache de Gomery; rapports scientifiques.

2. 遠征に於ける報告は其土主の名、建設、或は其の事件の一に記されし。

ex. 1. Gesellschaft für Erdkunde zu Berlin.

Grönland-Expedition der G. f. E. z. B., 1891-93.

unter Leitung von Erich von Drygalski.

ex. 2. Albert I., prince of Monaco.

Résultats des campagnes scientifiques

accomplies sur son yacht par le prince Albert I,

prince de Monaco.

ハ、遠征の報告は其土主の名に記す。或は其の事件の一に記されし。

ex. Beechey, Capt. F. William. The zoology of Captain
Beechey's voyage; compiled from the collections
and notes by capt. Beechey, the officers and
naturalist of the expedition under
command of Capt. F. W. Beechey, 1825-28,
by eight persons.

ex. 2 [Dodd, 4]

History of the Indian revolt
1856 - 58. [By G. Dod

R.C. History of 1856-58. [By G. Woodd] which see.

卷にふり事名の変わった記入は、その一部は、その他と異地まがある。大抵の場合は最初の巻の名とする。又后から来た事名の大多数が新な事名で在るに最もよく知られてゐるのはそれと事もある。それにも、いづれかを参照とある。

50との著者とは、名を明記になつた場合。By the ~~same~~ author of の場合はその事名に記入す、事名の后に By the author of とある。若し精細な事を求めると By the author of と二回にあり の語で附加記入をせよ。author of と后にかへる。

ex. Adorned coronet; a tree story.

By the author of "The martyrdom of an empress"
 ПРОВОДЪ. "Martyrdom, The, of an empress," author of.
 A dopped coronet; a tree story.

著者の initials のみでは、その書物を扱う場合：
書作者が initials のみの場合は書物で出た方がよいと云ふ人がある。即ち anonymous の場合
と同様に 見なすのである。 initials は J. C. とに出す。

EX. Savage and civilized Russia
By W. R. Lond. 1877. 8°

R.C. R, W.
Savage and "

二様以上の綴字を有する言葉が記入の初頭にあつた場合:
書名記入の初頭が二様以上の綴字にあつた場合は、その書籍のT.P.にあるものを採るべし。而
て第一、第二の綴字は、24に於て参照を要す。

ex. Enquiry (into) inquiry
Contemporary cotemporary

Anonymousの車の翻訳の取扱い方:

資料にないものの書名の最初の語句と、本文の書名及翻訳者名に参照記入を要すべし。

EX. m.c. Near to Happiness (A côté du bonheur.)
Tr. from the French by Frank H. Potter.

R.G.1. Potter, Frank H.
Near to happiness.
See Near to happiness.

R.C.2. A côté du bonheur.
See Near to Happiness.

British 協会では anonymous の車のナンバーは原文に記入され、12冊に
原号及びの書籍張書の凡てを同時に見せられ得るやうなものであつた。あまりにあり

書名の要語にて記入する方法:

Bibleの取扱ひ方: 及びこれに準ずる聖書の取扱ひ方:

Christ 基督の聖典 Bible (これは本の意であり, Bibliography 辞書の意とあり) は全部と一部とにかかはらず何れの場合にかいれぬものでも "Bible" を第一に出すべし。

又 apocrypha (偽經、偽書) のもの十四卷あり、之は Bible の假[か]とともあつて
その²の²が、これをも假に Bible のものに記入す。

この4冊、Bibleと8巻の律法にあらた91 = Talmudあり。241は、猶古の書と8巻の律法あり。

Koranは四つ支の経典あり。これらは一つれも、Talmud, Koranを要して能く入す。

足2名の称呼は英語を用us。上4名、多くの聖書に於て記述する所は約40名。

独	Bibel	Bibel
和		Biblia
伊		Bibbia

事も英語に²先その標目を出す。

原典の editor, translator 等があるところ、これの人は 参照して出す。

又、"Holy Bible", "Holy Scriptures", "The Old Testament", "The New T."
等もある。Bibleを標目に用いるものあり。その中の一巻の標の場面も同様あり。

その配列は

1.	Bible.	Polyglot.
2.	Bible.	By languages, Alphabetically.
3.	Bible.	Selections, By languages. Alph.
4.	Bible.	Old testament. Polyglot
5.	"	" By languages. Alph.
6.	"	" 各語の箇所、各箇所の各語
7.	"	" Apocrypha
8.	"	New testament (9, 10, 11)

ex Arabian Nights

Annuaire historique universel.
Annuaire météorologique de la France.
Who's who.
Minerva.

News papers

本邦の新聞紙を記入するに当り、新舊紙は本紙の如く翻刊、月刊、四半刊、年刊の如く
紙刊と出刊の如くある。これらは本紙の如く、本紙より参照を要し、

ex. The morning times.

参. The times, Washington. The morning times
See, The morning times

新舊紙の中は、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

ex. London. The times. New York. The Gazette

他國の新聞紙を記入するに当り、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

N.B. Directory は一冊限りの本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

雑集書 collections

本邦の著名者の著作を集合し、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

ex. 1. Longfellow, H. W., ed.

The poets & poetry of Europe. With introd.
& biograph. notices. By Henry W. Longfellow

ex. 2. Gifts of genius; a miscellany of prose
poetry, by American authors. Introd. by
S. O. [

参. Osgood, Samuel.

Gifts

See, Gifts

本邦の著名者の著作を集合し、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

ex. 3. Monumenta [紀念集]

2 Anecdota [逸事集]

3 Collections of inscriptions [石版集]

の書は本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

ex. 1. 1 Monumenta palaeographica.

Herausg. von Prof. Dr. Anto Ols

2 Monumenta Habsburgica.

Herausg. von der Histor. Commission der
Kaiserl. Akademie der Wissenschaften in
Wien.

参. Keiserl. Histor. Commission.

ex. 2. [紀念集] 本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、本紙の如く、

1. Freiburg i. B. Universität. Festschriften der
Albrecht Ludwigs-Universität in Freiburg zum
fünfzigjährigen Regierungs-Jubiläum Seiner

Subject-entree
Liter-entree
Chief-word entree (要語記入)
ex. History of Germany 1793-1806
Gleason, History of. 1793-1806
Chief-words
Chief-words

Rome. Lond. — . 12°

News papers

も亦多々其の記入を要するものあり。野史等は本誌のみにて刊、夕刊、日曜刊の如く
 其の刊行と否との別あり。之れより其の記入を要するものあり。本誌のみにて刊、夕刊、日曜刊の如く

ex. The morning times.

参 The times, Washington. The morning times
 See, The morning times

新聞紙の中は其の刊行の地をP. 2. titleと記す。地を記す。P. 2. titleと記す。

ex. London. The times. New York. The Gazette
 他国入事と冠すものは、その必要あり。

N.B. Directoryとは一冊のみのものあり。之れは Non-periodical directory と
 して、3冊 著者の名を記す。之れは title の下の注記に記す。

雑集書 collections

多量の著者の著作を事集むる書は compiler 又は 著行文の名にて記入する
 事集むる書は、之れは人の著するものあり。之れは人の著するものあり。之れは人の著するものあり。

ex. 1. Longfellow, H. W., ed.

The poets & poetry of Europe. With introd.
 & biograph. notices. By Henry W. Longfellow

ex. 2. Gifts of genius: a miscellany of prose
 poetry, by American Authors. Introd. by
 S. O. [

参 Osgood, Samuel.

Gifts
 See, Gifts

此等書の3冊あり。

ex. 3. 1. Monumenta [記念集]

2. Anecdota [逸話集]

3. Collections of inscriptions [碑文集]

の表は其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。

Keiseri, Akademie der Wissenschaften

Wien.

参 Keiseri.

Histor. Commission.

ex. 2. [記念集] 著者一人の著するものあり。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。

1. Freiburg i. B. Universität. Festschriften der
 Albrecht Ludwigs-Universität in Freiburg zum
 fünfzigjährigen Regierungsjubiläum Seiner
 Königlichen Hoheit des

2. An English miscellany; presented to Dr. Farnwall
 in honour of his seventy fifth birthday. Ed. by
 Kar, Napier & Stewart.

Cyclopedias & Dictionaries: 之れ等の書は通例著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。

ex. 1. Chisholm, George G., ed. Longman's Gazetteer of the world. Lond. 1906.

R.C. Longman's Gazetteer of the world. See Chisholm G. G., ed.

ex. 2. Heilprin, A. & Louis, eds. A complete pronouncing gazetteer.

R.C. Lippincott's New gazetteer. See Heilprin, A. & Louis, eds.

Series: 一著者の著するものあり。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。

ex. 1. Twelve English statesmen. Lond. 1880-86. 12 vol. 12°

Chatam. By F. Harrison.

Oliver Cromwell. By F. Harrison.

Edward the First By J. Jout.

Queen Elizabeth. By E. S. Beesly.

Henry the Second. By Mrs. J. R. Green.

Cardinal Wolsey. By M. Creighton.

ex. 2. The Story of the Nations

1. Rome. By A. Gilman

2. The Jews. By J. K. Hooper.

3. Germany. By Rev. S. Baring-Gould.

4. Carthage. By A. J. Church.

Gilman, A.

Rome. Lond. 12°

(The Story of the Nations. 1)

ex. 3. International scientific series.

Vol. 1. Tyndall, J. Forms of water. 1892.

Vol. 2. Bagehot, W. Physics & politics. 1890.

Vol. 3. Smith, E. Foods. 1873.

Lond. 1872-90. 3 vol. 8°

此等は著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。其の著者の名を記入する。

Titles.

は常例をその詳細にあらはす、みだりに取捨すべきは、*more* 又不必要の事物を、*less* 必要をあらはす言葉を省くべし。若し甚く古文に互に留むべき必要のもの、中居又は末部の方で、これと省くも可なり。その省略の言を示すために *three dots* をもつてあらはすべし。又 *title P.* の句語法は一冊毎に準ずべし。若し句毎なきとせばこれをも補ふべし。

稀觀書の書名。
材料に稀觀の字を有する書の書名、colophon (章句) は元々精密にとり、その punctuation
capitalization 又法は ~~その~~ 字を有するべくそのまゝに採用せし。

3 綴字の誤謬誤植
3 綴字の誤、又は 3 綴字の誤には、或 半角を 書ぜざうからす。即ち印刷の法は [!] 又は [sic] を用ひ、半角の場合には、その誤字の下へ 3 dots ... を附すべし。

Title は又お附加。
 若し事柄が不明時を又又は是れを要おとせば必要の語句を「」にはさめて補ふべし。
 補入の語句は皆漢字を旨とし、和事と同国語にてすべし。若しかりき文句の挿入すに
 必要あるときは、これを title に加へず、註記にかけよ。

該書の言語と必要なる場合には
 語は「*in Turkish*」等と書く。例し *Title P.* などでは書かれず、要するに
 「*in English*」等の句を置く必要せず。対照的に常々
 西語のときは注を要せず。

書名 字訳 transliteration 又語訳 translation
Rome 字又はゴイワラ ~~ト~~ ~~ニ~~ の文字にてあらはされた事は又字を言う事に Rome 字に五
ことを得。又 Greek, Latin, Romance うち又は Intonic 語はうの語にて書かれた
事もの事なりきは簡單の書名語を附かぬとを得。

二卷以上の事物の事(且し雑記を以て)
211にフ2には原則として第一巻のtitleを目標とし、巻数が増えたり書きに変更あるときはその由を注
あべし。

二種以上の書名に出発せしむる同一書
これは一書が二種以上の書名に出発せしむるときは、何れも種の書名を書きおとし、その下には
種の書名を記す。甲書名に記入せしむるは、乙書名を注記し、乙書名に記入せしむる場合は甲
書名に記入せしむる。(甲)

22 x 37 1/2.
ex. Meredith, George. Emilia in England. (P) (2)
(Afterwards issued as: Sandra Belloni.)
Meredith, George. Sandra Belloni.
(Previously issued as: Emilia in England)

二枚以上の title P. を有する場合.

一事は二枚以上ある。P. 面と表はどの一枚でも普通の版版のものを採用し、必要ならば、第二枚四の記載をも入れ、左半部には金銭面図を採録し、時刻せしめ普通の印刷にあらせざるを要する。この場合、この版金は印刷用紙のものを採用すべし。この印刷用紙、P. の面の出版年代が彫刻用紙、P. の出版年代より左半部には印刷用紙を採用すべし。若し P. に一様あり、二つは異様なるときは、第一の P. の版と第二の P. の版とを第一のものをとすべし。若し両者互に異なるときは、第一の P. の版と第二の P. の版とを第一のものとすべし。

国語を異にする title 又 title P.
title 又 T.P. が異なり言はれて表はされ、'の中にも Roma 字のみの唯一あるときはそれを
~~採用~~採用せし。 若し二つあり又は西字等に於て Roma 字などときは留置して或は
されたるものを採る。 尤も Greece 語の書にて Greece と Latin と両様の事あるときは
は Latin 語とせし。

二枚のJ.P.と有る複製書 re-prints.
reprints として何事目的の T.P. のある原書の表紙の複製と有るべきは副刊書の T.P. を
採用す。但原書に二枚の T.P. があるに於ては、何れも採用せしむ。但何れもが複製書の表
紙と有る場合は表紙を引用す。

ex. Flint, James. Flint's letters from America,
1818-1820.

Cleveland. 1904. 8°
(Reprint, including fac-simile of t.-p. of
original ed., Edinburgh, 1822.)

T.P. の亡~~免~~せよもの

T.P.の末尾の符号は、この要目録又は書名によつて補えし、その由を注記すべし。
引用の目録等の名を挙ぐべし。書名若し「Running title」とときはHalf titleをぬき又はRunning title 又は colophon により、その由を注記すべし。若しそのものなきときは「」内にしるし書名を記し「」内に入れ且本文の初発又は内容の首單を注記すべし。
印刷発行之書はT.P. あり、他はHalf title, running title, caption title 又は colophon あり。その注記を附すべし。

Edition: Édition: Auflage, Ausgabe (issue).

版次を示す語句は書名の一部として取扱ふべし。而て、この語句は当該書の書かれた国語にて記すべし。

一部の書に表巻をふくむ場合

この時その数値が版次を異にする場合は異同を記述あり。

ex. vol. 1. 36. ed.
vol. 2. 25. ed. etc.
ex. 4 vol. 23.—36. ~~vol.~~ ed.

ex. 4 vol. 23.—36. ~~vol~~

道瑤

綴字の誤謬誤植

Little は又あの P 付加.

該書の言語と必要の場合には

書字訓 Transliteration 又語訓 translation

二卷以上の事物の事(且し雑)を印はく

二種以上の書名に出版せしむる同一書

ex. Meredith, George. Emilia in England. ⁽¹⁴⁾

(afterwards issued, as: Sandra Belloni.)

Meredith, George. Sandra Belloni.

(Previously issued as: Emilia in England)

国語を専攻する title 又 title P.

二枚のJ.P.と有明書刊書re-prints

ex. Flint, James. Flint's letters from America,
1818-1820.

Cleveland. 1904. 8°
(Reprint, including fac-simile of T.-P. of
original ed., Edinburgh, 1822.)

T.P. の亡免せよもの

T.P.の元兎の場合は信形及び目録又は書込によりて補充し、何由を記述すべし。
引用せし目録等の名を挙ぐべし。書名若し誤り難き所とせばHalf-titleをぬき又は
Running-title 又は colophon により、何れを記すべきとせば註記すべし。若しそのものなき
ときは「書名を誤り」内に記入し且本文の初発及び内容の簡単な説を記載すべし。
印刷完結後の書名はT.P.を、他はHalf-title, running title, caption title 若し
とる。とくに記述を附すべし。 colophon

Edition: Édition: Auflage, Ausgabe (issue).

版次を示す語句は書名の一部として取扱ふべし。而て、その語句は当該書の書かれた年の国語に記すべし。

一部の書に表巻とふくむ場合

この時この表が版次を異にする場合は異同を記述する。

ex. vol. 1. 36. ed.

vol. 2. 25 ed. etc.

ex. 4 vol. 23.—36. ~~vol~~ ed.

o Subject-entry

Title-entry

Chief-word entry (要語記入)

ex. History of slavery 奴隷の歴史
Slavery, History of. の如く記入す。

..... chief words ~. の場合には
Chief words,, ~.

Imprints.

出版地、刊年、出版者名を合せて *imprints* と云ひ、吾々 T.P. の底にあり。

Place of publication.

T. の書きの字は出版地を示す。一個所ある時は二個所以上あるとあり。一個の場合には二つ、三個以上の場合には "Lond. etc." 等の如くある。出版地を記すにはその書きの国語に記し、普通用字の字は用字語を用ふべし。

出版地名の形式 *Form of place name*

Latin 語式の地名、英語の地名、国語式の地名は近代の名称、又ハ普通の名前を () にしてはさみつけかゝる可とす。

ex. Vindobona (Wien)

Aineda (Edinburgh)

Hafnia (Copenhagen)

Lugdunum Batavorum (Leyden)

Elvetrorum Argentina (Strassburg)

London — Londoni

Berlin — Berolini

Publisher

通例は Place of P. の次に Publisher を必要とある場合はその語は書きの語を記すべし。

ex. Charles Scribner's sons.

J. Hachette et cie

Junge und Sohn.

出版者名は出版地と同じく国語を用ひ、地名の連綴に記す。

ex. N. Y., Scribner

Par., Hachette

Leip., Junge

Place of printing

出版地及出版者の字ハ印刷地を記す必要あり、但し、出版地と印刷地と異なる場合ハ、rare book 等にはその必要あり。印刷地又印刷者を出版地及出版者と添へて記すべし。

ex. Lond., Trubner [Colombo, S. J. A. Steen, Printer.]

Par., Dent [Guernsey, Imprimerie universelle]

Privately Printed

(priv. print.)

ハ、前記の字が明かに示されずは出版事項の中に私刊の字を記入す。

ex. [Aberdeen, Aberdeen University Press,
priv. print.]

1899.

刊年 Date of publication:

T. P. にあらはれぬ、刊年代はなほアラビア数字に記さる。ただし、アラビア数字の文字にて表はす事がその書の特長とあらはす時、その他、おまの理由ある時は、T. P. 所載通りアラビア数字の文字又は記号にて記さる。後の場合には普通の西暦年代を [] にしてはさみつけかゝるべし。

ex. 1875 = MDCCCLXXV

l'an I de la République, (1793)

an XI de la République, (1803)

N. B. 1. 印度におお年代

Sainvat は date of Vikramāditya

Sainvat 1 = 57 B.C.

Saka 1 = 78 A.D. (78+1 は saka の元年とおもふ)

N. B. 2. 5660 年が猶太教の本にあり。これは 1900 A.D. 年。

3760 B.C. = 1. 猶太

N. B. 3. 回教

1277 = 1899 A.D.

622 A.D. = 1. 回教 date of Hegira.

刊年の記載なす時、

出版事項の七カ所に刊年の記載なす時、種々検索に、出版年代を知らず、その場合にはこれを [] にしてはさみつけ記すべし。若し各所検索を不明の場合には、推定年代を記すべし、次の如くすべし。

ex. [179-?] [179-] [1793?] [1793]

[17-] [17-?]

n.d. = no date

Copyright date:

版権登録を得た T. P. に刊年なく、且出版年代を検索し能はぬ場合は版権年代に [] をしてはさみつけ用す。

ex. [c1912]

Collation.

書籍の巻数、頁数、挿図、大さ、に關する事項を巻頁事項とす。これは T. P. に記載なすものにて、目録の自身に調査記録すべきなり。その所在は出版事項の次なり。この巻頁事項は凡そ英語にて記し、下の順序に記すべし。

1. 巻数、一巻ある時は page 数をかす。

2. 挿図

3. 大さ

頁数: は一書籍中一回以上になつた時は各回の最後の page を出し、+ をして連続すべし。

ex. XII + 365 + 18 pp.

稀には page 数を録しないものを補ふ場合には [] にもする

ex. 365 + [4] + 273 pp.

挿図 Illustrations:

frontpiece = front.
illustrations in text = il. or ill.
plates = pl.
photographs = phot.
portraits = port.
maps (& Chart) = map.
plants = plan.
facsimiles = facsim.
tables = tab.
diagrams = diag.

Imperfect copies:

pageが欠けてあるか、損失、欠頁のあるもの、何が故に欠けてあるかを註記す。

ex. imperfect copy (front. wanting)
imperf. cop. (front. w.)

Size: 書籍には高さをもつてその大きさを計り記す。セ=4×10に等分して表す。

便宜上より

17.3 cm. — 17.7 = 17½ cm

17.8 — 18.2 = 18

18.3 — 18.7 = 18½

18.8 — 19.2 = 19

19.7 — 20.2 = 20

又紙のfoldに注意あり。(cf. classification note)

N.B. 1本に2冊のatlasが附いてある、2冊のatlasは別に取扱ふ。

ex. 30 cm. Atlas, obl. 28 cm

N.B. 2. 一部に2冊大の異なるとあるは、各通し示す。

ex. Vol. 1, 16 cm.

Vol. 2, 3, 18 cm.

Vol. 4, 16.5 cm.

3rd term lecture

特別注意:

1. Series note.

一つの書物が若し一書事の一部を占めるときはその書事の名を各個にはさんで記入す。

ex. (The English men of ~~letter~~ letters)

(The International scientific series)

seriesの名がもし cover にのみあるとき、(fly sheet) は "on cover" なる語をその前に附へる。

ex. (On cover, ~)

もし Half title のみにあるときはその由を記す。

ex. (Half title, ~)

2. Contents.

内容を述べるのは特種な書物にのみ。

一書にして同一著者の数個の著作を含むか、又は異る著者の数個の著作を含むか、又は数種の問題に關する著作を含むか、又は異る事件に關する一つの著作を含むとある。2の場合にはその書の内容を知ることが要あり。殊に總論的書物が乏しく内容をあらわすはむづかしい場合はその内容をあらわす要あり。

一箇の著作の部、巻、部、折、等をあらわすときはその書の日附に記す。

例へば、第2巻に記すときは part, volume, fascicule

部 partie, volume (tome) fascicule

折 Theil (teil), Band, fascicule.
(Bändchen)

内容をかくす記法はその書にあらはれたいものをとつて、大抵の場合その書に記し、著作名を附し、1冊1冊を記すより便とあるときはその限に記す。

3. Notes.

一書の書名を説明し、又は誤解を避ける必要あるときは注記せよ。書名

imprint 又は collation の中にあらはれたいものには注記せよ。

注記の語は原語に用ゐるべし、然し其の語の文句を引用する必要

あるときはその限に記す。引用の文の出所は明記せよ。句点法、spelling 等はたとへ一冊の目録に於ては明記せず、各文通に行ふべし。

注記は下の如きものにてなすべし。

A. 解題的事項, Bibliographies

B. 後名(著者 姓号)

C. 匿名者 Anonyms

D. 続編 Sequels

E. 書名の変更, 改題 Formerly issued

F. 出版地の諸ヶ所あるとき。

G. 複製 reprints あるとき。

H. 他のもとの合装せられたとき。

I. 不完全な一部あるとき。

4. Added entries.

已にはべつて別に加げる他に added entry を作る必要のある場合、その附加記入を要するものは凡そかゝる書目書に記述せしめやすき字彙と和名とに於て何れかの字をある書とす。② 篇号と、出題者、審議者等の名前が附加記入を要す。その他凡そ附加記入の要する書の検査に便なるときは附加記入をなす。此の附加記入の大部分は参照の型になつてゐる。

5. Analytical entries.

2.1.1は著者又は書名につき一書又は一著者の各一部につき2行はなす。
2.2の場合も一書と別な2.1と、別な2.2とあり。

6. References:

前1はあげの附加記入を音階に2本記入に~~2~~参見せはの趣きのものを参照とす。
本記入に2とある付のをもつて2本を1本とせし。この中長用は其の長音名とす。

Capitalization 撥

語頭の文字は、人名、地名、国名、固有名称の代理物又、此等
の名称より導き出た形容詞、その他書名の最初語（左に最初語が Article
なる故をとり、此も右置の語とちよときはこの使用語、~~此語~~）につく大
字にあら。その他疑はしきは大文字を用ひざとす。而して大文字は各
国語の慣例に準ぜり。

Congress L. の Capitalization の rule をあげよう。

1. 毎文書
④ title page あるいは 毎書
引用せしむる 毎書又 "of" 冠し 2 等 以下 別書名の初語
を大書にする。例 新書 雑記の書名を引用するとき 冠詞の初
字を大書にする。
ex. the Nation.
2. 新書 雑記 叢書の事等 以下 2 は 1 の 語 句 5 等 article の 初 語
字を大書にする。
ex. 2 Hundred merry Tales
3. 凡そ 固有名詞 (地名 人名 等) の 初 語 字を大書にする。例 別に 規定の
所のもの 2 の 限りに あり。
4. 一人 種 又は 一人 種の 個人 名 表 示 する 用 いたる 形容詞 是 元 來 固
有 語 には 大書 する。例 Spain, Politiques, Scandinavia
等 是 別 あり。
5. 半 語 には 冠 詞 語 又 種 等 語 あり 然し 地名 是 固 有 語 字を大書 する。
土地 名 種 等 語 あり 然し 土地 名 主 體 名 知 示 ときは 大書 する。
例 the city of Chicago
6. 地名 の 代用 として 表 示 する 語 又 東 西 葡 萄 等 の 語 には 或 一定 の 地方 名 あり
は 固 有 語 の み 用 いたる 其 の 是 大書 する。
ex. The Middle kingdom
the East.
The West (Occident)

7. 形容詞は大字にあ

ex. the Spanish successions
de Indische fabel.

但し次の除あり。

1. 地名をあらはす形容詞にても、その原意を失へばそれは大字を用ひず。

ex. indian rubber.

gum arabic.

Arabic numerals.

roman numerals.

- ロ. 独立語の不曲的語尾 er を有するのはこれを capital にてあらはすべし。

ex. Münchener.

Wiener

1. 建物の完全なる名称の代りに用ゐらるる adjective は Capital letter にあづし。

ex. The Vatican palace.

La Vaticana.

8. 英語又蘭語に於ては日語の名稱を大略に次の如し。

ex. Japanese Maleisk
 Maleisch

9. 人名の字の如き形容詞は英語又蘭語にては大字にあらず。
但その言が尊重名の意味にて用ゐらるるものは其の限にあらず也
の國語にては其の習慣にならふ。

Ex. 1. Euclidian geometry.

Abelian functions.

ex. 2, epicurian tastes.

10. 人名に添加せしむる副名 By-names, 又人名に什用せしむる句はこれ並大字に在事。

ex. Alexander the Great.

Pipin ~~the~~ le Bref.

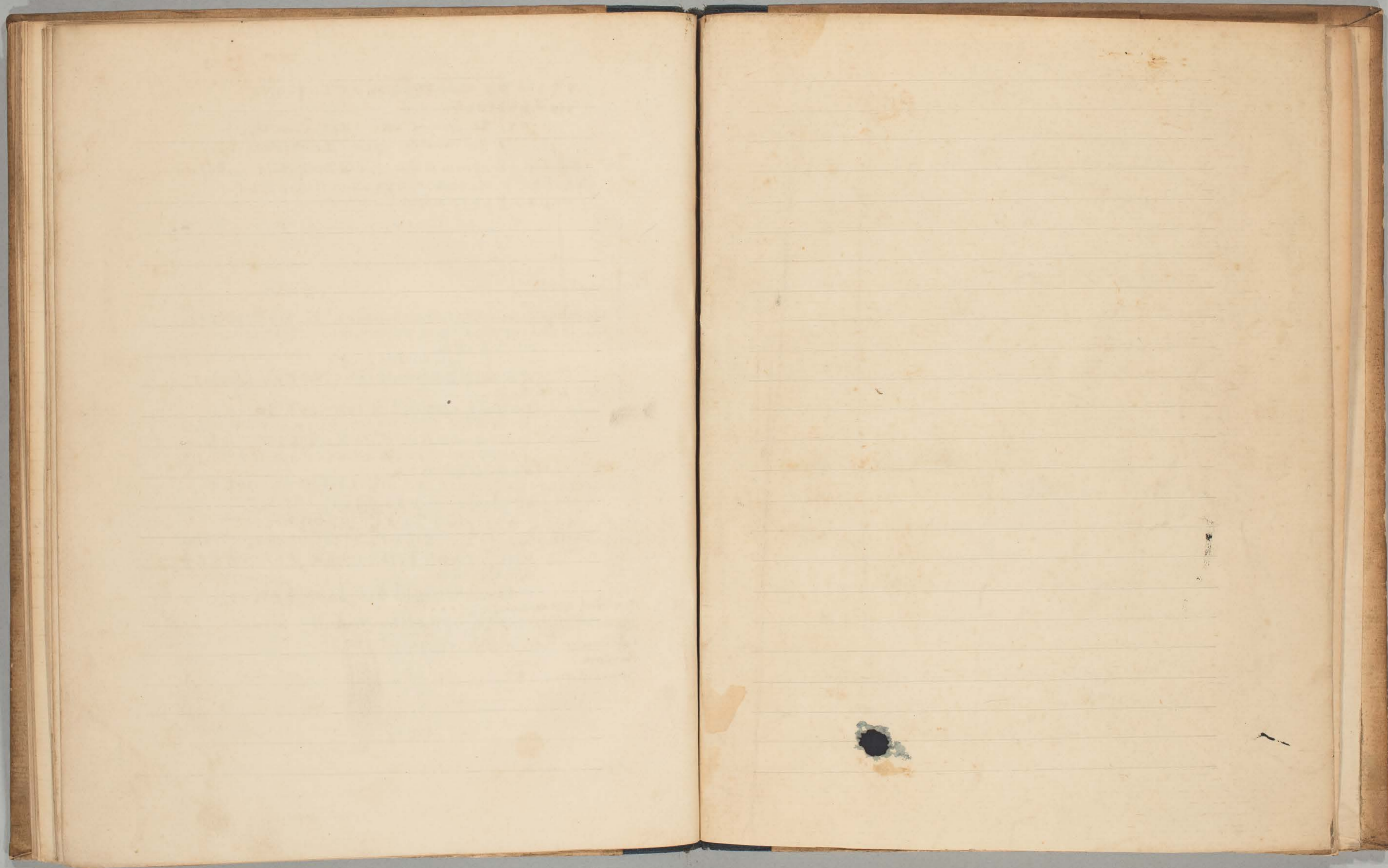
Friedrich Barbarossa

the Projector = Oliver Cromwell.

11. 英又蘭語に於ては人名の表音に於り、又は人名の變りに用ひるは名譽
又罷名、即ち称号を大體にす。

組人名の後に来りのは然らず。

仏、伊、西、双、スカンディナヴィア語の区別は、第2の符号は(右の語)の1は、



36511



実践女子短期大学図書館
5A0062501

